

# 殺虫剤

エトフェンプロックス粒剤

農林水産省登録 第16985号

サンケイ  
**トレボン®**粒剤

性 状：褐色細粒

毒 性：普通物

有効年限：4年

有効成分：エトフェンプロックス (PRTR・1種64) …1.5% 包 装：2kg袋×10

## 特 長

トレボン®は、三井化学アグロ(株)の登録商標です。

- ピレスロイド様化合物エトフェンプロックスを含む水稻用殺虫剤です。イネミズゾウムシの成虫と幼虫に優れた速効性と残効性を示します。

## 適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	イネミズゾウムシ、イナゴ類 イネドロオイムシ、ウンカ類 イネゾウムシ、ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	2～3kg /10a	収穫21日前まで	3回以内	散 布	3回以内
	ニカメイチュウ第一世代	3kg/10a				
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm) 使用土壌約5ℓ 1箱当り70g	移植当日			
いぐさ	イグサシンムシガ	2kg/10a	-		散 布	
さとうきび	ハリガネムシ類	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回
れんこん	イネネクイハムシ	3kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散 布	3回以内
畑わさび	ナトビハムシ		植付時			
			収穫14日前まで	1回	散 布	2回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、散布は1回以内)
畑育苗期 ただし、植付時			植溝土壌混和			
わさび		畑育苗期	散 布			

## 使用上の注意事項

- 本剤を本田で使用する場合、湛水状態（湛水深3～5cm）でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤を箱育苗に使用する場合は次の注意を守ってください。
  - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
  - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
  - イネ苗の葉がぬれている場合葉害が生じやすいので、葉に付着している露を払い落とすしてから薬剤を散布し、軽く散水してください。
  - イネミズゾウムシ成虫の発生が多いと効果が劣る場合があるので注意してください。
  - 誤って過剰に使用すると葉先枯れなどの葉害を生じることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。
- 育苗箱に本剤を使用した苗の移植をする場合は次の注意を守ってください。
  - 本田が砂質土壌の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用を避けてください。
  - 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意してください。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけてく

ださい。また、深植にならないように注意してください。

○本田への移植後低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用を避けてください。

また、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさけてください。

- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落としてください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。
  - 養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関（都道府県の畜産部局や病害虫防除所等）への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

### 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。  
作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

### 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（魚類）の影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。